

表紙	タイトル	著者	出版社	コメント (紹介した年)	分類番号
	焼けあとのちかい	半藤一利/文 塚本やすし/絵	大月書店	戦争だけははじめてはいけません 「日本のいちばん長い日」「昭和史」などの著作を残し、2021年に他界された半藤一利さんが、子どものころ体験した戦争を絵本にしてくださいました。 (2021. 8)	Eヤ
	まどさんからの手紙 こどもたちへ	まど・みちお	講談社	まどさんからの手紙 なりたいたいような おとなに まだ なりきれてない おとなへ 84才のまどみちおさんから ろうそくのひかりを渡された気がする本です。 (2021. 8)	15
	あしなが蜂と暮らした夏	甲斐信枝/著	中央公論新社	ハチって、こわくないの？ 厚くなってくると、ぶらりと長い脚を下げて飛んでいるアシナガバチ。作者は興味シンシンで、幼虫にお造りやクリームパンをやったりします。ちょっとドキドキ。ついに巣ごと袋に入れて京都から東京まで引越しをさせます。さて新幹線の中でどうなったか…?! (2021. 6)	486
	リアルサイズ古生物図鑑 (中生編)	土屋健/著	技術評論社	中生代 (恐竜時代) の生物があなたの横にいたら？ ページをめくるたびにいろんなシチュエーションがくりひろげられ、楽しい気分になっちゃいます。 バスの上にくくりつけられたプリオザウルス (p 124)、猛ダッシュで改札に向かうパキケファロサウルス (p 244)。笑えます。 (2020. 9)	457
no image	がんになった親が子どもにしてあげられること	大沢 かおり/著	ポプラ社	愛する家族とあなたの為に がんと診断された時、子供にその事を伝えるのか 伝えるとしたらどうすれば…… いつか自分が、身近な愛する人がそうなった時のために。 (2020. 8)	49

	山怪	田中 康弘／著	山と溪谷社	<p>日本の山には何かがいる 狐火，神隠し，山中に響きわたる叫び声…… 山に関わる人達から聞いた，山にまつわる不思議な話や体験談。それらの話には日本人の自然に対する畏敬の念を感じる。民俗学としても愉しめる1冊。 (2020. 8)</p>	376
no image	病気の魔女と薬の魔女	岡田 晴恵／著	学研	<p>早くワクチンを！ 感染症の専門医が子ども向けに書いた物語です。チフス・天然痘・コレラなど、伝染病が世界を変化させた歴史をわかりやすく魔女の語りを通してわたしたちに伝えます。 (2020. 6)</p>	913才カ
	「走る図書館」が生まれた日	シャーリー・グレン／著 渋谷 弘子／訳	評論社	<p>移動図書館の歴史 移動図書館を見たことはありますか？本を車に乗せた走る図書館です。この本はアメリカで最初に走る図書館を考えついた図書館司書のお話です。絵本ですが，本の好きな大人にもおすすめします。 (2020. 4)</p>	01
	モノのはじまりを知る事典	木村 茂光／著	吉川弘文館	<p>これって……いつからあるんだろう？ 「形のないモノ」と「形のあるモノ」が混在する現代において，昔から残っている「形のあるモノ」には残るだけの意味と価値があります。それらのはじまりをわかりやすく伝える事典です。 (2020. 4)</p>	382
no image	京都名墓探訪1 洛東編1	小川 善明／著	ナカニシヤ	<p>静かに歩きたい人へ 歴史上の人物の“お墓の住宅地図”のような珍しい本です。古に想いを馳せ、歩いてみるのはどうかしら。手書きの地図がなんとも味があります。第1巻の豆知識に、芥川龍之介、江戸川乱歩、竹下夢二、夏目雅子等の戒名まであります。第2巻には、人名索引もついています。 (2020. 2)</p>	291

	<p>モダンタイムス</p>	<p>伊坂 幸太郎／著</p>	<p>講談社</p>	<p>検索の先に何があるのか？ 恐妻家の渡辺は、妻に雇われた男から拷問を受けている。男は問う「勇気はあるか？」と荒唐無稽な中に、意味深長な要素が散りばめられ、深読みすると突き放される。その先にある巨悪の存在を見る「勇気はあるか？」 (2020. 2)</p>	<p>913冊</p>
<p>no image</p>	<p>ビッグ・クエスチョン</p>	<p>スティーブン・ホーキング／著 青木 薫／訳</p>	<p>NHK出版</p>	<p>ブラックホールに、そしてホーキングにはまり込みたい人へ この本は、ウィットに富み、驚異的な想像力・頭脳を持つホーキングからの最後のメッセージです。温暖化・核の脅威・AI化の地球。その中に生きる私たち。未来へのメッセージを読みましょう。好奇心でワクワクします。 (2020. 1)</p>	<p>440</p>
	<p>されど愛しきお妻様</p>	<p>鈴木 大介／著</p>	<p>講談社</p>	<p>理想とは言い難いけれど…… 著者のお妻様は、大人の発達障害。マイペースで、部屋は片付けられないし、怒るとリストカットして、床をホラーな状態にする。そんなお妻様に、始終小言を繰り返していた著者が、ある日、脳梗塞から、高次脳機能障害になってしまう。しかし、思うように体が動かないおかげで、お妻様の気持ちが理解できるようになって……理想というにはハードだけど、支え合う素敵な夫婦の話です。 (2020. 1)</p>	<p>916</p>